

令和5年度 北海道南幌養護学校グランドデザイン 具体的取組事項

【令和5年度 重点目標】 児童生徒一人一人の可能性を育む 教育課程の改善・充実
～ カリキュラム・マネジメントの推進 ～

一人一人の可能性と
よさを育む 授業づくり

- キャリア教育の視点に立った「個別の指導計画」の作成
 - ・一人一人の自立と社会参加につながる力を育む「個別の指導計画」「個別の教育支援計画」の作成
 - ・保護者との共通理解と一人一人の教育的ニーズへの対応（合理的配慮の提供、関係機関との連携）
 - ・自立活動の指導の充実（課題の明確化と指導目標・内容の的確な設定、外部専門家等との連携）
- 学部間の系統性、連続性のある教育課程の編成・充実
 - ・教科等横断的な視点による一人一人の資質・能力を育む教育計画の検討
 - ・学習指導要領に基づく学年、学部間の系統性のある年間指導計画
 - ・P D C A サイクルによる教育課程の改善・充実
- 一人一人の学びの質を高める授業改善
 - ・主体的・対話的で深い学びの実現へ向けた授業改善
 - ・一人一人の可能性を育む「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現
 - ・学習評価を生かした授業の改善・充実
- ICTを活用した学びの充実
 - ・授業への効果的な活用
 - ・一人一人に応じた情報活用能力の育成
 - ・教育活動の継続への活用（学びの保障）
- 心身の健康、安全に関する教育の充実
 - ・道徳教育の充実（教育活動全体を通じた計画的な推進、各教科等との関連）
 - ・健康に関する教育の推進（体づくり、健康に関する教育）、基本的な生活習慣の育成、食育
 - ・安全教育の推進（交通安全、避難訓練、SNSの使用など日常生活全般における安全に関する教育）

カリキュラム
マネジメント

授業改善

安心・安全な
教育環境づくり

- 一人一人が尊重され、安心して学び、生活できる学級・寄宿舎
 - ・人権尊重を基盤とした教育（さん付け呼称の徹底、言語環境の整備）
 - ・受容的、共感的、協力的な関係づくり、集団づくり（心理的安全性の保障、いじめ等の防止）
 - ・児童生徒理解を基盤とし、一人一人のよさを伸長する指導・支援（励まし・称賛・対話）
 - ・生活する力、望ましい対人関係を育む寄宿舎生活
- 安全、適正な教育環境の整備
 - ・ヒヤリハットの共有、安全点検の実施による学校事故の未然防止
 - ・医療的ケアの円滑な実施（保護者との連携、教職員の共通理解、学舎の連携）
 - ・教育環境の整備（狭隘化への対応、施設設備の老朽化への対応、円滑なスクールバス運行）
- 保護者・地域との連携による危機管理体制の確立
 - ・保護者との連携による感染症対策、緊急時対応の実施
 - ・地域との連携による災害時対応の確立
- 計画性・透明性のある予算執行
 - ・教育効果を高め、保護者、地域に理解の得られる効率的な予算執行
- 協働し、学び合う教職員（協働と専門性の向上）
 - ・職員間の共通理解に基づく指導・支援（対話による共通理解、報連相による共有・組織的な対応）
 - ・組織的な校内支援、関係機関との連携（コーディネーターを中心とした校内支援、関係機関との連携）
 - ・認め合い、支え合うチームとしての教職員（学部間・学舎・各職種の協働：チーム南幌）
 - ・専門性の向上に努める教職員（校内研究の推進、新たな研修制度、教員育成指標の活用、初任段階教員の専門性の向上）
 - ・不適切な指導、体罰の根絶
 - ・服務規律の保持（教育公務員としての自覚と責任）

人権尊重の教育

狭隘化への対応

教職員の協働
専門性の向上

地域と連携・協働する
学校づくり

- 保護者・地域との連携・協働の推進
 - ・保護者：共通理解に基づく教育の推進、PTAとの連携、学校評価の活用
 - ・地域：地域の人的・環境的教育資源を活かした教育活動の充実
 - ・学校間：学び合い、育ち合う交流及び共同学習、居住地校交流の推進
 - ・関係機関：一人一人の教育的ニーズへの対応（医療・福祉との連携、支援会議等）
 - ・一人一人の自立と社会参加を実現するキャリア教育、進路指導の推進（各居住地、進路先等との連携）
 - ・「個別の教育支援計画」の活用
- コミュニティ・スクールの推進をとおした社会に開かれた教育
 - ・教職員の共通理解に基づくコミュニティ・スクール（学校運営協議会）の推進
 - ・R5年度テーマ「地域との協働による教育活動の充実」「地域と連携した危機管理体制の取組」
- ホームページの充実による教育の発信
 - ・教育活動の積極的な発信による保護者、地域への教育活動の発信
- センター的機能の発揮による特別支援教育の充実
 - ・センター的機能の発揮による地域支援
 - ・各地域の教育支援会議への参画
- 共生社会の形成、SDGsへつながる教育
 - ・共生社会の形成へ向けた教育
 - ・SDGs、ESD（持続可能な開発のための教育）の推進
 - ・地域の学校としての役割の推進（地域の教育、安全への連携）

地域と協働した
教育活動の充実

教育活動の発信

業務改善

教育の質を高める業務改善（働き方改革）

- 1 会議の精選・効率化
 - (1) 効率的な推進（目的を絞った会議設定、会議資料の事前配付・事前閲覧、45分会議、会議記録の効率化）
 - (2) 議題と連絡事項の確認・調整（職員会議ほか各種会議）
 - (3) 会議の持ち方（内容に応じ参集または書面による会議設定）
- 2 業務の精選・効率化
 - (1) 業務の精選（省力・縮小・移管・削減の視点による精選、新年度計画及びコロナ後の各計画における精選）
 - (2) 業務の効率化（ICT活用、一斉メールを活用した保護者連絡、懇談や各会議のオンライン活用、サーバの整理）
 - (3) 業務内容の明確化と平準化（業務内容・役割分担の明確化と共有、各業務の平準化）
- 3 授業準備・教材準備の効率化：本校の教育コンテンツの蓄積と活用・各種教育コンテンツ、データ共有の活用
- 4 勤務時間を意識した働き方：定時退勤日・変形労働時間制の活用・評価週間・定時退勤強化週間等、出退勤システムの活用・学校設定目標
- 5 コアチームによる計画的な推進：具体的な取組、推進スケジュールの検討